2020年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月11日

上場会社名	株式会社 妙徳		上場取引所 東
コード番号	6265	URL https://www.convum.co.jp	
代表者	(役職名) 代表取締役社長	(氏名) 伊勢 幸治	
問合せ先責任者	(役職名) 取締役執行役員	(氏名) 泉 陽一	TEL 03-3759-1491

四半期報告書提出予定日　2020年11月11日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第3四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	1,608	△8.2	241	29.5	258	29.2	170	31.4
2019年12月期第3四半期	1,752	△17.2	186	△44.3	199	△42.6	129	△50.3

(注) 包括利益　2020年12月期第3四半期　138百万円 (6.1%)　2019年12月期第3四半期　130百万円 (△42.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	109.49	109.47
2019年12月期第3四半期	84.62	84.02

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第3四半期	5,110	4,682	91.1
2019年12月期	5,034	4,581	90.4

(参考) 自己資本　2020年12月期第3四半期　4,655百万円　2019年12月期　4,551百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	―	20.00	―	20.00	40.00
2020年12月期	―	20.00	―		
2020年12月期(予想)				20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年 1月 1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,142	△6.6	239	11.8	262	14.4	171	15.8	109.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 無

新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 有

（注）詳細は、添付資料8ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期3Q	1,657,000 株	2019年12月期	1,657,000 株
② 期末自己株式数	2020年12月期3Q	100,385 株	2019年12月期	114,331 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期3Q	1,555,798 株	2019年12月期3Q	1,532,419 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） …… 8
（セグメント情報） …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症拡大による先行き不安が蔓延し、経済全般の鈍化が顕著となり、各業界において設備投資を手控える動きが続きました。日本経済においても、新型コロナウイルス感染症の収束が見えない状況が続き、設備投資に慎重な姿勢が見られるなど、先行きは不透明な状況にあります。

このような環境下、当社グループは、顧客ニーズに対応した製品開発と、主力製品の基礎研究を強化する取組みを行いました。また、社内システムの改善を推進し、生産効率の強化を実施しました。販売面においては、営業活動が制限を受ける中、ロボット関連製品の販売促進に注力してまいりました。

この結果、当第３四半期連結累計期間の経営成績につきましては、連結売上高は1,608,658千円（前年同期比91.8%）、連結経常利益は258,417千円（前年同期比129.2%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は170,348千円（前年同期比131.4%）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

（日本）

製造工程の省人化、自動化設備導入の需要を背景に、ロボットハンド関連製品の拡販と半導体及び電子部品業界の需要取り込みを中心に営業活動を展開してまいりました。国内においても、新型コロナウイルス感染症拡大による先行き不安から、設備投資の縮小がありました。

この結果、売上高は1,171,370千円（前年同期比96.7%）となりました。営業利益については、243,298千円（前年同期比132.1%）となりました。

（韓国）

一般産業機器の自動化装置向けに、現地生産によるセカンドブランド製品の投入を行い、半導体製造装置業界や液晶関連設備業界に対してはユーザーニーズに対応した製品の投入を行いましたが、世界的な新型コロナウイルス感染症拡大による、大手企業の設備投資縮小の影響を受けました。

この結果、売上高は241,548千円（前年同期比73.8%）となりました。営業損失については、21,250千円（前年同期は営業損失24,880千円）となりました。

（中国）

新型コロナウイルス感染の対策により、経済活動は回復基調にありましたが、世界的な感染拡大の影響や、米中対立問題の長期化が懸念され、経済の先行き不安感が払拭できない状況となりました。

この結果、売上高は103,387千円（前年同期比100.6%）となりました。営業利益については、13,633千円（前年同期比66.6%）となりました。

（その他）

タイ国子会社においては自動化設備への拡販活動を行いました。タイ国周辺諸国では、半導体生産設備への拡販活動を推進するとともに、タイ国内では食品業界及び自動車関連設備への製品投入を積極的に行いました。また、米国子会社においては新型コロナウイルス感染症拡大が顕著となり、営業活動自粛の影響を受ける中、既存販売店への拡販活動を行いました。

この結果、売上高は92,352千円（前年同期比83.5%）となりました。営業利益については、5,777千円（前年同期比86.7%）となりました。

（２）財政状態に関する説明

①　財政状態の分析

（資産）

当第３四半期連結会計期間末において、流動資産は前連結会計年度末に比べ130,851千円増加し、2,873,945千円となりました。これは主として、現金及び預金が180,133千円、製品が17,700千円、仕掛品が15,921千円増加したのに対し、電子記録債権が93,377千円減少したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ54,028千円減少し、2,236,915千円となりました。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ76,822千円増加し、5,110,861千円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ27,190千円減少し、273,394千円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金が13,926千円、未払法人税等が39,235千円、賞与引当金が22,081千円増加したのに対し、流動負債「その他」が102,434千円減少したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ2,822千円増加し、154,777千円となりました。これは主として、退職給付に係る負債が3,536千円増加したことによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ24,368千円減少し、428,172千円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ101,191千円増加し、4,682,688千円となりました。これは主として利益剰余金が108,362千円増加したことによります。

その結果、自己資本比率は91.1%となりました。

(３) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの連結業績予想につきましては、第３四半期の実績に鑑み、変更をいたしておりませんが、今後、業績予想を修正する必要があると判断した場合には、適時に修正開示をいたします。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2020年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,744,153	1,924,286
受取手形及び売掛金	311,296	321,011
電子記録債権	253,633	160,256
製品	176,791	194,492
仕掛品	128,545	144,466
原材料	90,567	93,766
その他	38,417	36,017
貸倒引当金	△311	△351
流動資産合計	2,743,094	2,873,945
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,427,666	1,426,849
減価償却累計額	△769,269	△799,111
建物及び構築物（純額）	658,396	627,738
機械装置及び運搬具	1,018,261	1,020,950
減価償却累計額	△738,239	△731,045
機械装置及び運搬具（純額）	280,021	289,905
土地	707,598	707,099
その他	727,164	745,899
減価償却累計額	△627,743	△654,118
その他（純額）	99,421	91,780
有形固定資産合計	1,745,438	1,716,524
無形固定資産	102,079	78,008
投資その他の資産		
投資有価証券	381,009	368,827
繰延税金資産	461	14,655
その他	61,955	58,899
投資その他の資産合計	443,426	442,382
固定資産合計	2,290,943	2,236,915
資産合計	5,034,038	5,110,861

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2020年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,978	41,904
未払法人税等	29,620	68,856
賞与引当金	29,916	51,998
その他	213,070	110,636
流動負債合計	300,585	273,394
固定負債		
退職給付に係る負債	138,579	142,116
繰延税金負債	862	4
その他	12,513	12,655
固定負債合計	151,955	154,777
負債合計	452,541	428,172
純資産の部		
株主資本		
資本金	748,125	748,125
資本剰余金	1,002,571	1,012,960
利益剰余金	2,789,767	2,898,130
自己株式	△136,246	△119,667
株主資本合計	4,404,217	4,539,548
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	137,701	123,159
為替換算調整勘定	9,389	△7,654
その他の包括利益累計額合計	147,091	115,505
新株予約権	1,810	－
非支配株主持分	28,377	27,635
純資産合計	4,581,497	4,682,688
負債純資産合計	5,034,038	5,110,861

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2019年１月１日 至 2019年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2020年１月１日 至 2020年９月30日）
売上高	1,752,198	1,608,658
売上原価	805,480	697,752
売上総利益	946,718	910,906
販売費及び一般管理費	760,299	669,447
営業利益	186,418	241,459
営業外収益		
受取利息	2,006	2,597
受取配当金	8,950	9,136
受取地代家賃	8,882	8,907
その他	3,852	4,470
営業外収益合計	23,691	25,112
営業外費用		
売上割引	154	111
為替差損	1,583	1,001
減価償却費	6,865	5,674
その他	1,567	1,367
営業外費用合計	10,171	8,154
経常利益	199,939	258,417
特別利益		
固定資産売却益	232	162
特別利益合計	232	162
特別損失		
固定資産売却損	―	210
固定資産除却損	1,270	97
特別損失合計	1,270	308
税金等調整前四半期純利益	198,901	258,271
法人税、住民税及び事業税	64,053	95,048
法人税等調整額	790	△8,674
法人税等合計	64,844	86,374
四半期純利益	134,057	171,896
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,379	1,547
親会社株主に帰属する四半期純利益	129,677	170,348

四半期連結包括利益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2019年１月１日 至 2019年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2020年１月１日 至 2020年９月30日）
四半期純利益	134,057	171,896
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	36,922	△14,541
為替換算調整勘定	△40,910	△19,334
その他の包括利益合計	△3,988	△33,875
四半期包括利益	130,068	138,020
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	124,826	138,762
非支配株主に係る四半期包括利益	5,241	△741

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

１．棚卸資産の評価方法

当第３四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第２四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。

２．法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しましては、前連結会計年度に対し一時差異、経営環境等に著しい変化がある場合においてはその影響を加味しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間(自　2019年１月１日　至　2019年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	日本	韓国	中国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,211,537	327,304	102,756	1,641,597	110,600	1,752,198
セグメント間の内部売上高又は振替高	238,582	40,619	―	279,201	―	279,201
計	1,450,119	367,923	102,756	1,920,799	110,600	2,031,400
セグメント利益又は損失(△)	184,180	△24,880	20,459	179,758	6,660	186,418

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「タイ」及び「米国」であります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	179,758
「その他」の区分の利益	6,660
セグメント間取引消去	―
四半期連結損益計算書の営業利益	186,418

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間(自　2020年１月１日　至　2020年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	日本	韓国	中国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,171,370	241,548	103,387	1,516,306	92,352	1,608,658
セグメント間の内部売上高又は振替高	196,822	79,919	―	276,741	―	276,741
計	1,368,192	321,467	103,387	1,793,047	92,352	1,885,400
セグメント利益又は損失(△)	243,298	△21,250	13,633	235,681	5,777	241,459

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「タイ」及び「米国」であります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	235,681
「その他」の区分の利益	5,777
セグメント間取引消去	―
四半期連結損益計算書の営業利益	241,459